

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## デンマーク王国（証券コード：-）

### 【据置】

|              |     |
|--------------|-----|
| 外貨建長期発行体格付   | AAA |
| 格付の見通し       | 安定的 |
| 自国通貨建長期発行体格付 | AAA |
| 格付の見通し       | 安定的 |

### 格付事由

- 格付は、多様で高度に発展した経済構造、慎重な財政運営の実績、堅固な対外ポジションなどを評価している。格付の見通しは安定的である。経済は個人消費が主導する自律的な成長を続けている。先行きも、内需主導の安定成長が続く中、慎重な政策運営により財政赤字は着実に縮小していくとみている。
- 人口は約570万人（16年央）、16年の名目GDPは3,068億米ドル。経済基盤は多様化し、高度に発展しており、16年の一人当たりGDPは購買力平価で約5万米ドル。低インフレ、低金利の環境が続く中、雇用情勢の改善や可処分所得の拡大を背景として個人消費が成長をけん引している。17年の実質GDP成長率は2%台半ばへと加速し（16年：2.0%）、先行きも内需主導の安定成長を続けるとみている。EU加盟国であるが、ユーロ導入は適用除外（オプト・アウト）が認められている。ユーロにペッグする固定相場制は、今後も経済政策のアンカーとして機能するとみている。国内金融機関は堅固な資本基盤を有するほか、不良債権比率も低水準にとどまっており、金融システムは安定している。
- 一般政府財政赤字（ESA2010）は、09年以降、低成長が続く中でも小幅に抑えられ、16年はGDP比で0.4%となった。17年は新たな不動産評価制度の導入に伴い資産税の払い戻しが例外的に生じることなどから、やや拡大するものの1%程度にとどまるとみている。一般政府債務残高（ESA2010）のGDP比は12年末から低下傾向にあり、16年末には38%となった。同比率は17年もわずかに低下すると思われる。政府は2020年までの財政収支均衡を公約としており、高齢化の進展による労働力人口の減少および社会保障関連支出増、北海の石油・ガス生産からの歳入減などに対処するため、退職年金制度および失業保険制度の改革などを実施してきた。政府の保守的な財政健全化計画や過去の経済運営の実績などを踏まえ、財政赤字は着実に縮小していくとみている。
- 対外ポジションは良好である。経常収支は99年から一貫して黒字であり、恒常的な貿易黒字と海上輸送収入によるサービス収支黒字に加え、対外債権にかかる利子、配当金受取に伴う所得収支黒字も寄与している。09年に対外純資産ポジションに転じた後、その残高は増加を続けている。先行きも対外純債権国として堅固な地位を維持するとみている。

（担当）内藤 寿彦・山本 さくら

### 格付対象

発行体：デンマーク王国（Kingdom of Denmark）

### 【据置】

| 対象           | 格付  | 見通し |
|--------------|-----|-----|
| 外貨建長期発行体格付   | AAA | 安定的 |
| 自国通貨建長期発行体格付 | AAA | 安定的 |

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年11月9日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：増田 篤  
主任格付アナリスト：内藤 寿彦
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（[http://www.jcr.co.jp](http://www.jcr.co.jp/)）の「格付関連情報」に、「ソブリン・準ソブリンの信用格付方法」（2014年11月7日）として掲載している。
5. 格付関係者：  
（発行体・債務者等） デンマーク王国（Kingdom of Denmark）
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が公表した経済・財政運営方針などに関する資料および説明  
・ 経済・財政動向などに関し中立的な機関が公表した統計・報告
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、発行体または中立的な機関による対外公表という、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 非依頼格付について：  
本件信用格付は格付関係者からの依頼に基づかない信用格付である。国に対する信用格付である場合を除き、依頼に基づく格付と区別するため格付記号の後に「p」を表示している。格付関係者からは、信用評価に重要な影響を及ぼす非公表情報を入手していない。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル